ふれあいネットワーク



令和4年7月1日

# 地域って耐

みんなにやさしいまちづくり

皆さまからいただいた会費はいただいた会取り組みこのような取り組みに生かしています



初めてのボランティア体験事業



心配ごとを抱える方への相談受付



車椅子同乗車両・車椅子・介護用ベッドの貸出



ふれあい・いきいきサロン活動の推進



調理が困難になられた方へお弁当を配達



音訳朗読ボランティアの育成



金婚を迎えるご夫婦へ記念品を贈呈



災害ボランティアセンターの 立ち上げ訓練



在宅介護者手当を受給している 介護者の交流



傾聴ボランティア訪問事業 (コロナ禍のため、現在電話での対応)

大規模災害が発生した時に備えて、事前に登録している災害ボランティアを対象に、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練や研修会を行っています。

**「自立した生活に向けて、相談支援なども行っています。詳しくは5ページをご覧ください。** 

社会福祉法人幸手市社会福祉協議会

〒340-0152 幸手市大字天神島1030番地1 幸手市保健福祉総合センター ウェルス幸手内 **☎**43-3277 **四**40-1460 https://www.satte-syakyo.or.jp

# <sup>令和3年度</sup> 事業報告・決算

#### 【主な事業】

#### 1 地域の福祉活動に関すること

●ふれあい・いきいきサロン活動の推進事業費:526,326円、市内22サロンへ助成

●福祉機器(ベッド・車椅子)の貸出

事業費:455,642円

電動・手動ベッド貸出 利用者数:47人 車椅子貸出 利用者数:178人

●車椅子同乗車両の貸出(幸手市補助事業)

事業費: 1,766,934円

登録者数:32人、利用回数:95回

調理が困難になられた方へお弁当を配達 事業費:267,150円、実施回数:19回

●金婚(結婚50年)を迎えるご夫婦へ記念品を贈呈

事業費:105,930円、33組のご夫婦へ贈呈

●福祉サービス利用援助事業

事業費:1,318,507円 延べ活動件数:191件

●在宅介護者手当を受給している介護者の交流 事業費:62,298円、参加者数:11人

●小・中学校の福祉教育の推進

事業費:316,128円

福祉指定校:市内小中学校:12校

●子どもが誕生した世帯へ赤ちゃん用品券を贈呈

事業費:71,430円、申請者数:37人

●傾聴ボランティア訪問事業(現在、電話での対応)

事業費:16,155円、利用者数:14人

●子育て応援まつりへの助成 60,000円

●団体への助成 事業費:262,500円、3団体

●ペットボトルキャップ、ベルマーク、不要入れ歯、 使用済み切手・書き損じ葉書の回収

#### 2 ボランティア活動に関すること

●災害ボランティア登録者を募集 登録者数:29人

●音訳朗読ボランティアの育成事業費:49,721円、受講者数:7人

【令和3年度決算】

	科目(収入名)	金額(円)	割合
1	会費収入	5,754,500	3.2%
2	寄付金収入	1,315,886	0.7%
3	補助金収入	43,803,178	24.3%
4	受託金収入	11,521,647	6.4%
(5)	事業収入(手数料·利用料等)	1,142,763	0.6%
6	就労支援事業収入(施設)	4,090,353	2.3%
7	障害福祉サービス等事業収入	84,637,087	46.9%
8	貸付事業収入	405,000	0.2%
9	その他の収入	18,298,967	10.1%
10	前期繰越金	9,526,981	5.3%
	収入合計	180,496,3	62円

●ボランティア団体活動に助成 事業費:165,789円、12団体

●手話奉仕員の養成(幸手市受託事業) 事業費:500,188円、受講者数:8人

●初めてのボランティア体験事業事業費:292,424円、受講者数:85人

#### 3 生活にお困りの方に関すること

●非課税世帯への慰問金品の贈呈

事業費:1,819,958円、対象世帯:48件

●心配ごとを抱える方への相談受付

事業費:132,000円

●生活にお困りの方の相談受付

事業費:8,387,807円

新規相談件数:173件、延べ支援件数:320回

●新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対し

共通商品券5千円を交付 事業費:575,000円

対象者数:167件、内115件に交付

●生活福祉資金の貸付(県社協受託事業) 新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付 緊急小□資金:貸付金額22,200千円、113件

総合支援資金:貸付金額136,240千円、249件

#### 4 障害者自立支援施設に関すること

●さくらの里(就労継続支援B型)の管理運営 事業費:57,146,588円、利用者数:20人

◆なのはなの里(生活介護)の管理運営事業費:49,799,329円、利用者数:16人

#### 新型コロナウイルス感染症の 感染拡大を防ぐため中止した事業

ひとり暮らし高齢者日帰りバス旅行、幸手市敬老会、グラウンド・ゴルフ プラチナ大会、手話講習会(レベルアップ課程)、幸手市健康福祉まつり、さくらの里宿泊研修、なのはなの里所外研修 他

	サービス区分 (事業名)	金額(円)	割合
1	法人運営(人件費・事務費)	38,541,652	23.1%
2	地域福祉推進	9,186,164	5.5%
3	ボランティア活動支援	1,009,012	0.6%
4	福祉サービス利用援助	1,318,507	0.8%
(5)	生活福祉資金の貸付	1,265,232	0.8%
6	生活困窮者自立支援	8,387,807	5.0%
7	障害者自立支援施設管理運営	106,945,917	64.2%
	支出合計 166,654,291円		

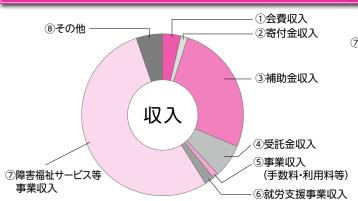
※当期末支払資金残高(収支差額)13,842,071円は、令和 4年度に繰越します。

# 令和4年度 事 業 · 予 算

#### 【重点推進事項(抜粋)】

- ①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯やひき こもり等さまざまな問題を抱える相談者に寄り添い、 状況に応じた支援が行えるよう関係機関との連携強化 や職員の資質向上に努めます。
- ②ふれあい・いきいきサロンなどの交流事業や小地域での見守り活動、ボランティア活動支援など、地域福祉の推進に努めます。また、行政や関係機関と連携・協働し地域のつながりや絆作りを図ります。
- ③幸手市障害者自立支援施設における適正な職員配置、 研修等を通じた職員のスキルアップにより、安心して 利用できる施設運営を図り、利用者一人ひとりに合わ せたより良い支援の充実を図ります。
- ④地域福祉活動に必要な自主財源(会費・共同募金・寄付金)を確保するため、コロナ禍における顔の見える関係づくりを工夫して行い、皆さまの協力が得られるよう社協事業のPR活動に努めます。

#### 令和 4 年度予算総額 **1億 6,405万7,000円**



⑦障害者自立支援	——①法人運営 (人件費·事務費)
施設管理運営	②地域福祉推進
支出	
	③ボランティア活動支援 ②福祉サービス利用援助
	⑤生活福祉資金の貸付 ⑥生活困窮者自立支援

	科目(収入名)	金額(千円)	割合
1	会費収入	6,280	3.8%
2	寄付金収入	2,000	1.2%
3	補助金収入	43,375	26.5%
4	受託金収入	11,192	6.8%
(5)	事業収入 (手数料・利用料等)	1,524	0.9%
6	就労支援事業収入(施設)	3,670	2.2%
7	障害福祉サービス等事業収入	87,837	53.6%
8	その他	8,179	5.0%

	サービス区分(事業名)	金額(千円)	割合
1	法人運営(人件費・事務費)	46,085	28.1%
2	地域福祉推進	14,025	8.5%
3	ボランティア活動支援	2,049	1.2%
4	福祉サービス利用援助	1,352	0.8%
(5)	生活福祉資金の貸付	60	0.1%
6	生活困窮者自立支援	8,979	5.5%
7	障害者自立支援施設管理運営	91,507	55.8%
	•		

※事業計画・予算及び事業報告・決算については、詳細をホームページからご覧になることができます。

#### 社会福祉協議会会費・寄付金の使いみち

皆さまからご協力いただいた会費・寄付金は、地域福祉のまちづくりを推進するため、さまざまな事業を通じて市民の皆さまに還元されています。

#### ▶法人運営のために

(事務経費、役員会、会員募集など)

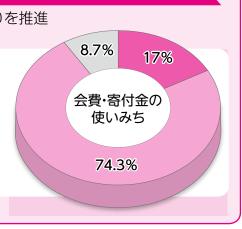
#### ▶地域福祉活動のために

(ふれあい・いきいきサロン活動の支援、車椅子・介護用ベッド・車椅子同乗車両の貸出、ひとり暮らし高齢者日帰りバス旅行、グラウンド・ゴルフ プラチナ大会の開催、福祉活動への助成など)

#### ▶ボランティア活動支援のために

(各種ボランティア養成講習会の開催、団体活動支援など)

※職員の人件費は、市からの補助金・受託金で賄われています。



#### 令和3年度小中学生ボランティア活動作品 小学6年生の部

# イア・市民活動セ

新型コロナウイルス感染症の動向等により、予定が変更になることもございます。予めご了承ください。

#### 保育ボランティア養成講座

行政等が開催する講座を保護者が受講中、お子さんを 別室で預かり保育するボランティアの養成講座です。

8/9(火)、16(火)、22(月) 全3回 10:00~12:00 ※予備日 8/29例

幸手市保健福祉総合センター 2階 第1会議室

保育ボランティアに興味がある方

①保育ボランティアとは

②子どもの気持ち・親の気持ち

③子どもの発達と遊び

④子どもに起きやすい事故の予防、ケガの対 応について

⑤今後の活動について

参加費 無料

定員 8名

申込み 8/5 金までに、幸手市社会福祉協議会に電話 か窓口で申込み

#### 今年もやります!ボランティア体験!

今年も彩の国ボランティア体験プログラム事業を実 施します。メニューを掲載したパンフレットが、広報 さってと共に配付される他、公共施設等にも備置して います。また、社協HPでも検索できます。

7/1から募集開始です。お待ちしています♪

秋以降 集開始

10月以降実施予定 每週土曜日 全12回 9:30~11:30

幸手市保健福祉総合センター 会議室

申込み 秋以降、社協さって市や広報さってに記事 掲載の他、公共施設等にチラシを備え置く

#### 聴き上手になろう

10月 集開始

(傾聴ボランティア養成講座)

11/28例、12/12例、19例 全3回 10:00~12:00

ところ 幸手市保健福祉総合センター 会議室

> 10月 詳細は社協さって市10月号に掲載の 他、公共施設等にチラシを備え置く予定

その他、6/23から毎週木曜日に、全25回の手話講習 会(基礎課程)が開講中です。



フラ・プアプアは、

フラダンスに興味がある初心者大歓迎



### 登録団体紹介コー



ボランティア・市民活動センターに登録して いる団体を紹介します!

フラ・ブアブア

活動日時・場所 中央公民館 毎月第2・3・4

· 金 午前9時30分~ ただきました。 う思いで、楽しいひと時を過ごさせてい

「こちらこそ」

ら、何度でも教えてくださいます。 朗らかな先生で、ジョークを交えなが の動きが異なるから、脳トレになってい 年齢に関係なく学ぶことができ、手と足 いましたが、 妊娠中や出産後も子どもと一緒に通って ます (笑) いたので、 仲間が温かく見守ってくれ 続けられています

された観客は、気さくな踊り手にますます ました。華やかな様相や優雅な踊りに魅了 魅力を感じられたことと思います。 祉施設などを訪問し、 禍以前は月1~2回のペースで、 団体です。 月3回の練習に加え、 踊りを披露されてい 病院や福 コロナ



緒に活動

練習の様子(上)/令和元年度 幸手市健康福祉まつり(下)



令和3年度小中学生ボランティア活動作品 中学1年生の部

と喜んで

ア訪問

ロナ前の施設へのボランティ 利用者様が「ありがとう」 私たちも

活動者の声

#### 生活にお困りの方へ

# **韩手市生活自立支援也少分**一

のご案内

## 幸手市生活自立支援センターとは?

経済的な問題で生活にお困りの方の相談窓口です。 ご本人の抱えている問題をお聞きし、解決の方法を 一緒に考え、「自立」に向けて支援します。 お気軽にご相談ください。





### 事業内容

### 自立相談支援

「収入が少なく、生活が不安」、「家族がひきこもっていて、将来が心配」等、生活で様々な悩みを抱えている方の相談をお受けしています。相談支援員がお気持ちに寄り添ってどうすればよいか一緒に考え、必要に応じて他の専門機関と連携して解決に向けたプランを作成し、自立のための継続的な支援を行います。

#### 住居確保給付金

離職ややむをえない休業等により住居を失った、またはその恐れのある方に対し、家賃の心配をせず、就職活動に専念できるよう家賃相当額(上限あり)を支援するための申請受付と相談を行っています。

生活の不安や心配なことがありましたらご相談ください。

### 相談の流れ

あなたの不安や悩みを 聞かせてください。 一緒に整理しましょう。



 問題の解決に向け、一緒 に計画を立てましょう。



3 計画に沿った支援を行います。



不安が解消されれば 支援終了となります。 その後も一定期間、相談 支援員が状況の確認を行い ます。

# お知らせ。募集

#### ふれあいパスの旅 に行ってきました

新型コロナウイルス感染症の影響で、しばらく中止しておりました「ふれあいバスの旅」を今年度、開催することができました。

6月17日 金に筑波山温泉方面へ向かい、道の駅「グランテラス筑西」や「筑波ハム」で買い物や見学などをして、楽しい時間を過ごしました。





#### 心配ごと相談

日常生活の中で悩みごと・心配ごと等 1 日で も早く解決できるよう相談に応じます。

- ◆相談日 毎月第2・第4木曜日(祝日は除く)
- ◆時間 午後1時~午後4時

◆場 所 幸手市社会福祉協議会相談室 ※予約はいりません。

電話相談もお受けします。



X

#### ポランティア相談

ボランティアを必要としている方、活動に参加したい方の相談をお受けします。

- ◆相談日 月曜日~金曜日(祝日は除く)
- ◆時間 午前8時30分~午後4時
- ◆場 所 ボランティア・市民活動センター ※電話相談もお受けします。

(社協内)

### 社協のホームページ





https://www.satte-syakyo.or.jp

#### 声の広報紙(CD版)を お届けしています 朗読VG幸手

目の不自由な方々へ「声」の広報として、 広報紙等をCDに録音したものを貸し出しして います。お好きな本なども 音訳いたしますので、お気 軽にご相談ください。

#### ′ 赤ちゃん用品券配付のご案内

赤ちゃんが生まれた世帯に、用品券を差し 上げます。

- ◆配付対象 市内在住の社協会員世帯で、子供を出産してから満1歳を迎えるまでの世帯
- ◆申 込 み 母子健康手帳(市町村長の出生届出済証明印があるもの)及び印鑑を持参のうえ、社協窓□へ
- ◆配付内容 2,000円分の用品券



#### ペルマークの回収

ベルマークの回収をしています。 皆さまのご協力をお願いします。 回収したベルマークは、

市内の小・中学校へ寄付します。

◆回収箱の設置場所

幸手市役所 ウェルス幸手 中央公民館



#### 「大きめに切る」事がコツ!

**●丸いマークも四角に切る**四角に切ると扱いやすくなります。

②小さなマークは大きく切る 小さなマークは周りに余裕を持たせ、2セン チ角くらいに切ると、数えるのにも楽です。

**③つながったマークはそのままで** 

キューピーなど、何枚かつながったマーク は全体を1枚に切ってもかまいません。



余白が残る よう、大き めに切りま しょう。



集計作業では、ホチキスでとめます。

# 揭示版

四合世

(福)幸手市社会福祉協議会

**2343-3277 2340-1460** 

#### 金婚を迎えられるご夫婦へ 一結婚50年の記念に一

金婚を迎えるご夫婦へ記念品を差し上げます。

◆対象者 社協の会員で申請時に、結婚(婚姻 の届出をした日から)50年以上になる夫婦で前年までに金婚のお祝いを

受けていない方 ※再婚の場合は、再婚してから50年

以上の夫婦となります。 ◆申込み 婚姻年月日のわかる 戸籍謄本または夫婦 どちらかの戸籍抄本 1 通を持参のうえ、

社協窓口へ



#### 使用済み切手の回収

使用済みの切手を回収しています。 回収した切手は、養護盲老人ホームひとみ園 へ寄付しています。使用済みの切手がある方は、 ぜひご協力をお願いします。

#### OK例(受け付けられるもの)

記念切手 通常切手以外で、何かを記念して限定的に発行される切手 ◆記念切手は消印がなくても構いません。







通常切手 よく見かける切手

◆切手と消印のまわりを1 cm程度残してお切りください。 消印の部分も残っている通常切手は対象となります。



◆長い消印の場合は、日付と地名が1つずつ残るように切ってください。



#### エコキャップ回収報告

皆さまからいただいたエコキャップは、ポリオワクチンとして寄付されます。

ご協力をお願いします。

◆回収ポットの設置場所 幸手市役所ウェルス幸手 2ヶ所



#### 小中学生ポランティア活動 作品(標語)募集

小中学生の福祉への理解と関心を高めるとともに、作品を通じて地域社会への福祉啓発を図ります。

- **◆募集期間** 7月21日休~8月31日休
- ◆募集対象 市内在住または在学の小学5・6 年生と中学1・2年生
- ◆応募方法 学校経由または直接募集先へ持参 するか郵送
- ◆選考方法 本会(選考会)で審査を行い、最 優秀賞、優秀賞を選考します。
- ◆入選結果発表及び表彰

入選者には、賞状と図書券を贈呈 します。また、12月1日発行予定 の「社協さって市」に掲載します。

- **◆そ の 他** ①作品の応募は、一人 1 点を限度 とします。
  - ②学校名、学年、氏名 (フリガナ)、 性別、住所、電話番号を作品の 裏面に記入
- ※入選作品はボランティア活動の 推進、啓発のための広報資材と して活用させていただきます。



#### ご寄付の紹介



幸手市商工会女性部様から食糧のご寄付をいただきました。

職場内のフードバンク活動で、集まった食糧は、市内在住の生活にお困りの方への支援に役立てていただきたいとのことです。心温まるご寄付をいただき、ありがとうございました。



# 員加入のお願し

幸手市社会福祉協議会では、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる 「福祉のまちづくり」を目指して活動しております。

皆さまからご協力いただいた会費は、「サロン活動の推進」「福祉機器や 車椅子同乗車両の貸出」「結婚50年を迎えたご夫婦に金婚祝品の贈呈」「各 種ボランティア講習会」などさまざまな地域福祉活動の推進のために、活 用させていただきたいと存じます。

ぜひ、趣旨をご理解のうえ、会員へのご加入をよろしくお願いします。



社会福祉協議会(通称:社協) は、社会福祉法に基づきそれぞれ の都道府県、市町村ごとに設置さ れ、地域の福祉推進を図ることを 目的として、さまざまな活動を行っ ている非営利の民間組織です。

#### 会員の種類と会費(年額)

一般会員 500円 協力会員 1,000円 5,000円以上 特別会員



#### 募集方法

7月・8月を会員募集の推進期間とし、 自治会等を通して加入のお願いをしており ます。また、年間を通して社協の窓口でも 受け付けております。(ご連絡いただけれ ば、社協職員が直接お伺いします。)

### 皆さまのご協力をよろしくお願いします。

(福) 幸手市社会福祉協議会につきまして、詳しくはホームページ (https://www.satte-syakyo.or.jp) をご覧ください。

